

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 <small>おがまえ</small> 小蒲江バイパス（一般国道388号）	事業区分	一般国道	事業主体	大分県	
起終点 自：大分県 <small>みなみかまべ</small> 南海部郡 <small>かほえちやう</small> 蒲江町大字 <small>かまえうら</small> 蒲江浦 至：大分県 <small>みなみかまべ</small> 南海部郡 <small>かほえちやう</small> 蒲江町大字 <small>いのくしうら</small> 猪串浦			延長	1.3 km	
事業概要 一般国道388号は大分県 <small>さいき</small> 佐伯市を起点とし、熊本県 <small>ゆのまえ</small> 湯前町に至る延長約246kmの幹線道路である小蒲江バイパスは幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約1.3kmの2車線道路である					
事業の目的、必要性 本計画区間は蒲江町の町役場所在地で町の中心地である蒲江浦地区と、町南部の起点となる小蒲江地区を結ぶ延長約1.3kmのバイパスである。本区間は現在、幅員狭小かつ線形不良の区間及び落石等の危険箇所が多く散在し交通の障害となっている。また将来、東九州自動車道の蒲江I.Cが森崎浦地区に設置されることとなっている。当事業により安全で確実な生活道路を確保するとともに地域の産業基盤の整備を図るものである。					
全体事業費		31 億円		計画交通量	3,600 台/日
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年	
	2.5	25 億円	62 億円	平成15年	
		事業費： 24億円 維持管理費： 1億円	走行時間短縮便益： 60億円 走行費用減少便益： 1億円 交通事故減少便益： 1億円		
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（重要港湾佐伯港へのアクセスが改善される） ・地域づくりの支援（大型車のすれ違い困難箇所の解消） ・道路の防災対策・危機管理の充実（防災点検等の危険箇所の解消） など7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 佐伯市、蒲江町等により構成されている国道388号整備促進期成会より早期整備促進の要望書（平成14年7月12日）が提出されている					
事業概要図 <div style="text-align: center;"> </div>					